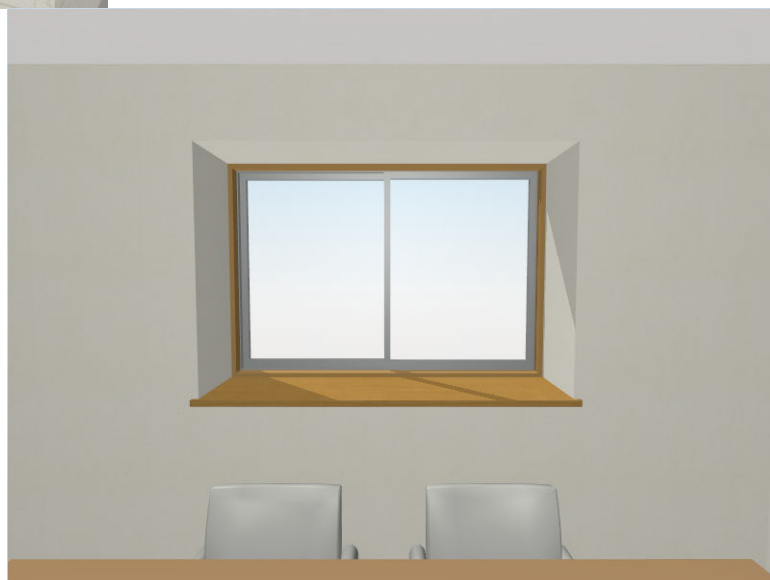


造り付けの出窓を作成する

造り付けの出窓の作成方法をご紹介します。

造り付けの出窓は、間取り画面で作成部分に壁開口を設定し、立体化してから形状作成ツールを利用して作成します。

完成例



※「3DマイホームデザイナーLS3」で作成しております。

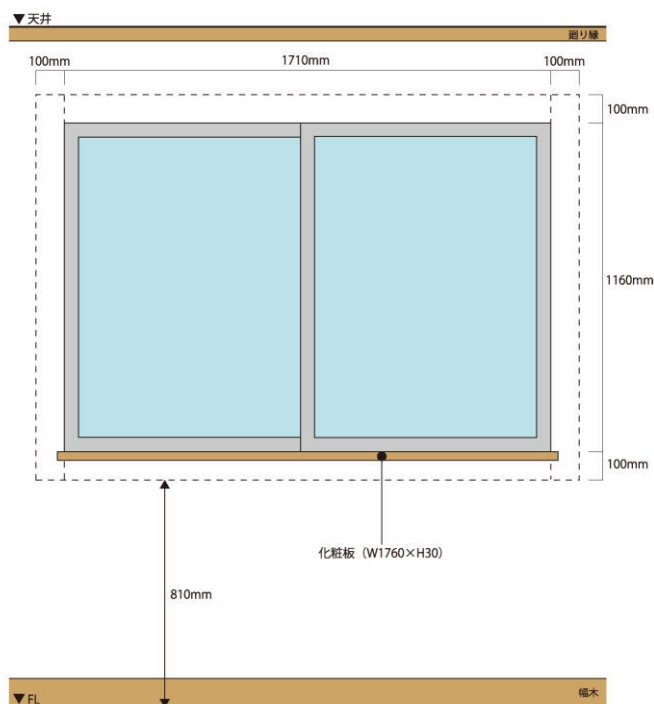
対象バージョン

3DマイホームデザイナーPRO7/PRO6/PRO5/LS3/LS2/マイホームデザイナーLS

準備

手書きでも構いませんので、作成する出窓の設計図を用意します。

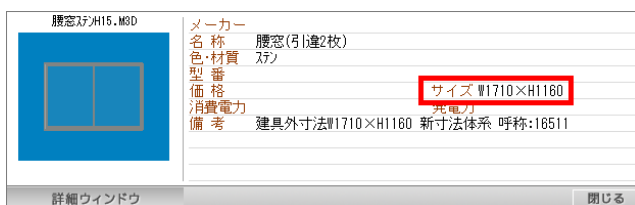
【室内側】



破線部分は形状作成ツールの「床」で作成します。
壁開口のサイズは破線部分を含めた W1910×H1360、床からの高さは 810 になります。

このような出窓を作成します。

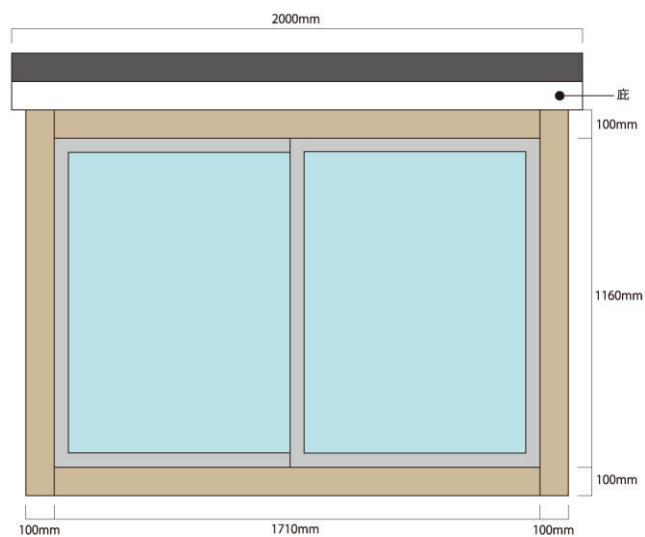
窓は、収録されている腰窓を利用します。
あらかじめ、パーツパレットで利用する腰窓のサイズを確認してから設計図を作成してください。



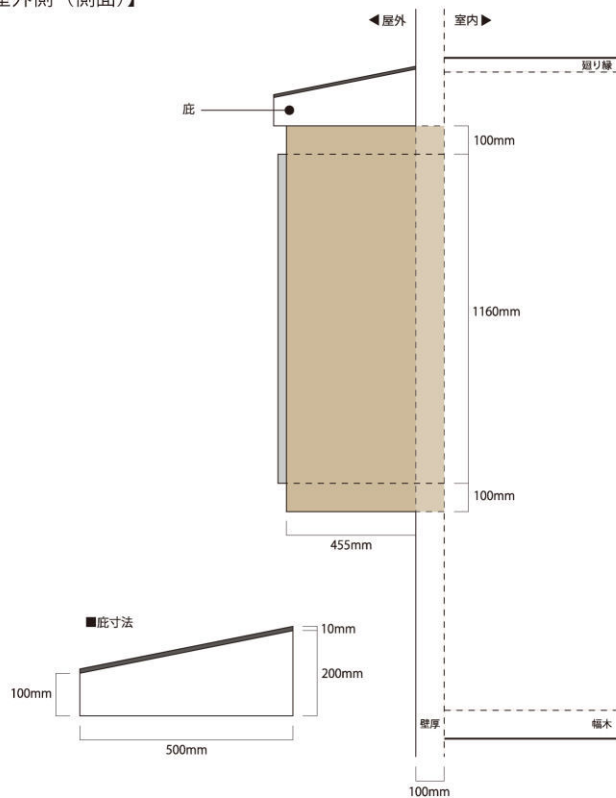
間取り画面で設定する壁開口のサイズは、とりつける腰窓のサイズに幅、高さともに壁厚×2の数字にします。

この例では、利用する腰窓のサイズは W1710×H1160 なので、壁開口のサイズは W1910×H1360 となります。

【屋外側（正面）】



【屋外側（側面）】



操作1 間取り画面で出窓を作成する部分に壁開口を設定します。

- 1) ナビの[部屋作成]—[壁編集]を選択し、パレットの[壁開口]ボタンをクリックします。
- 2) 出窓を作成する壁をマウスドラッグして大まかな壁開口を設定します。
- 3) 設定した壁開口をダブルクリックし、[壁編集のプロパティ]で、「開口部幅」「開口部高さ」「壁下端からの高さ」を入力して[OK]をクリックします。

ここでは、前項の設計図のように

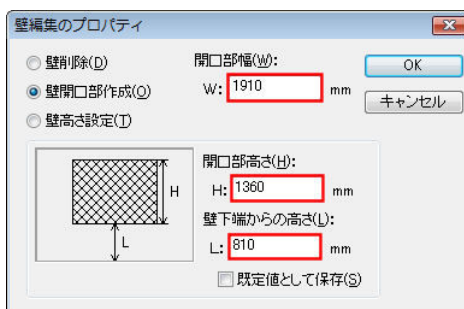
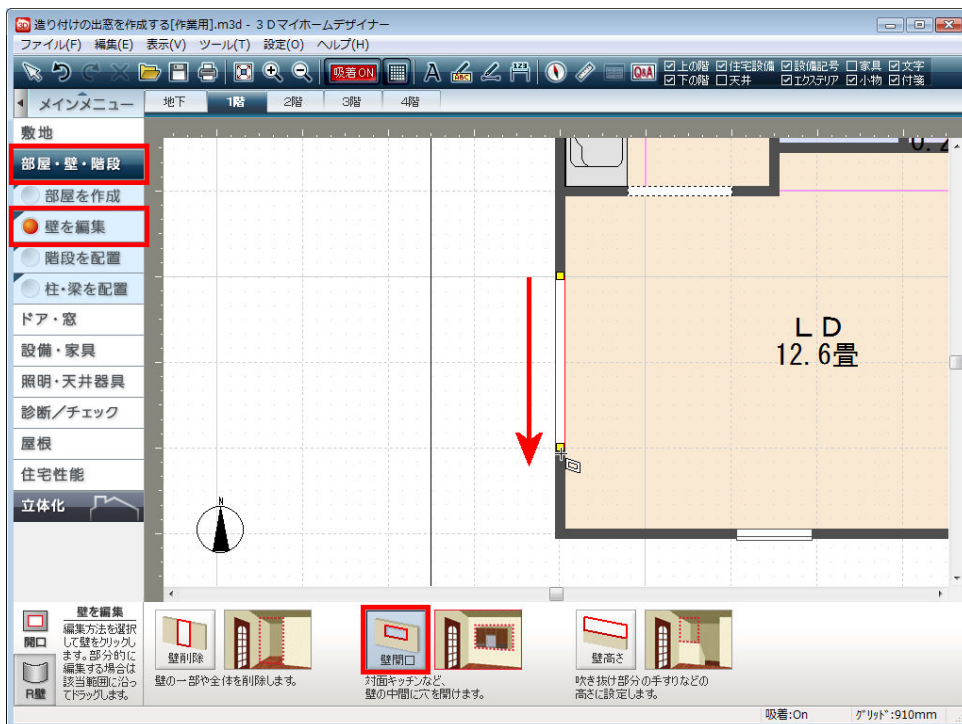
開口部幅: 1910mm

開口部高さ: 1360mm

壁下端からの高さ: 810mm

と設定しています。

- 4) ナビの[立体化]をクリックして立体化します。



操作2 出窓の下枠、上枠、側面枠を作成します。

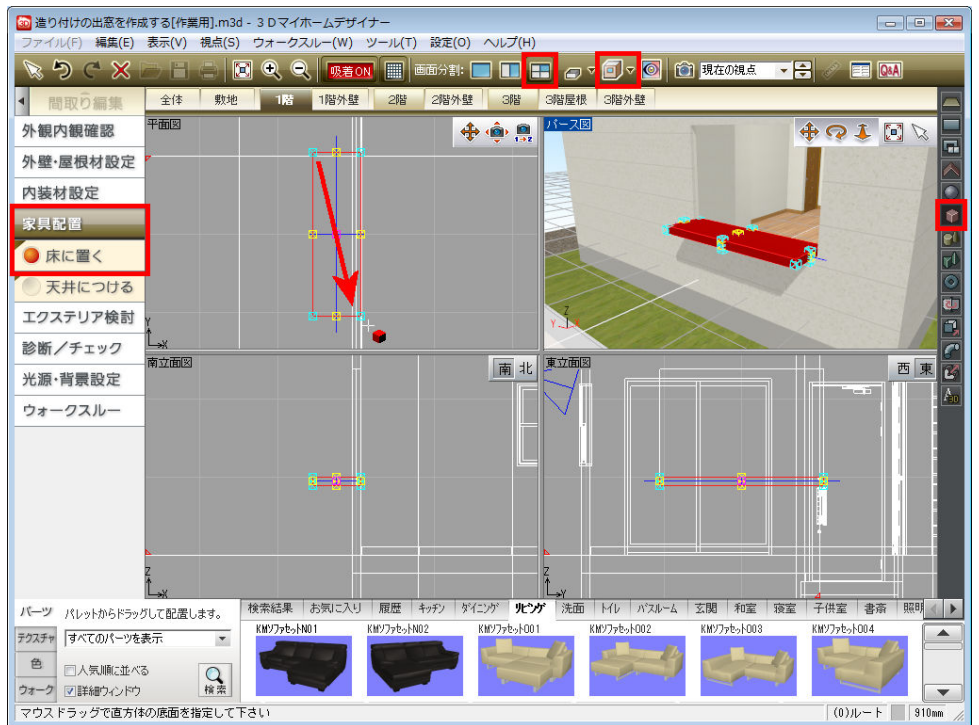
1) ナビの[家具配置]—[床に配置]を選択し、作業するフロアタブに切り替えます。

ツールバーの[四面図表示]ボタンをクリックして画面を切り替えます。

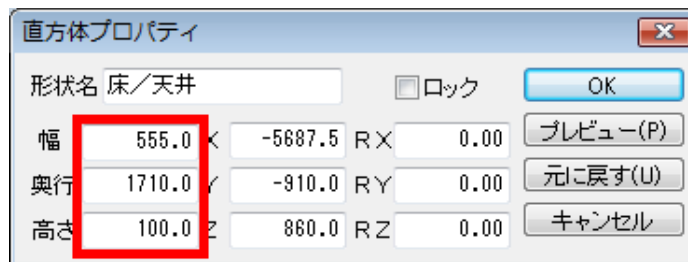
「PRO6」「LS3」をご利用の方は、ツールバーの[壁表示]ボタンをクリックし、「すべての壁を表示」を選択して壁を表示させておきます。

2) 下枠を作成します。

形状作成パレットから[床・天井]ボタンをクリックし、平面図上をドラッグして形状を作成します。



3) 作成した形状をダブルクリックし、「幅」「奥行」「高さ」を入力します。ここでは、設計図のように幅:1710mm、奥行:555mm、高さ:100mm と設定しています。



4) 平面図、立面図で作成した形状をドラッグして位置を調整します。

5) 作成した下枠を3つコピーし、左右の側面枠、上枠として配置します。

その際、側面枠のサイズは設計図のように

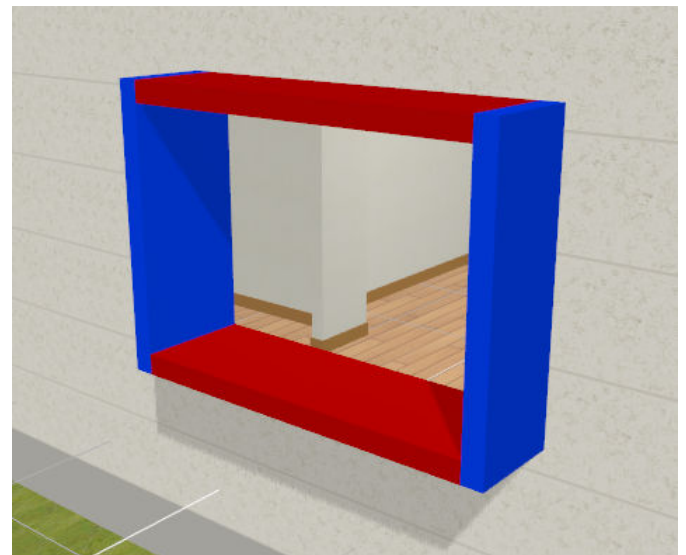
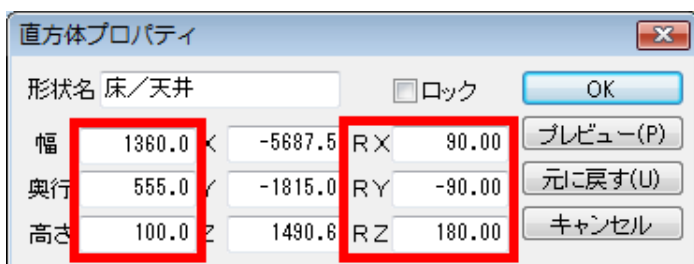
幅:1360mm、奥行:555mm、

高さ:100mm と設定しています。

また、四面図で縦置きになるようにドラッグするか、

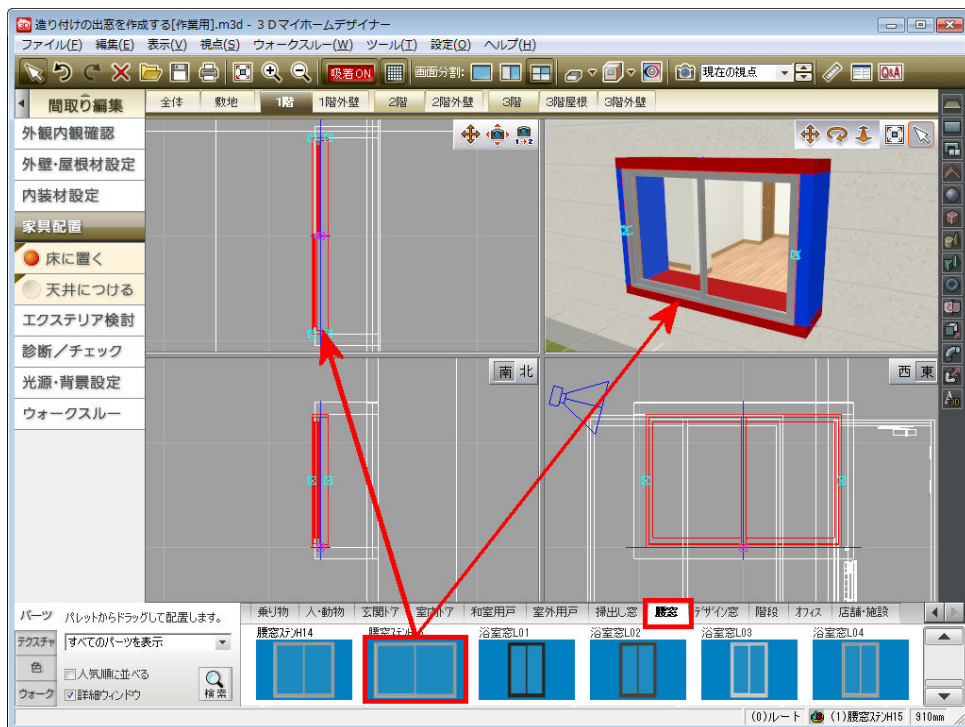
図のように RX:90.00、RY:-90.00、RZ:180.00 と

入力して回転します。

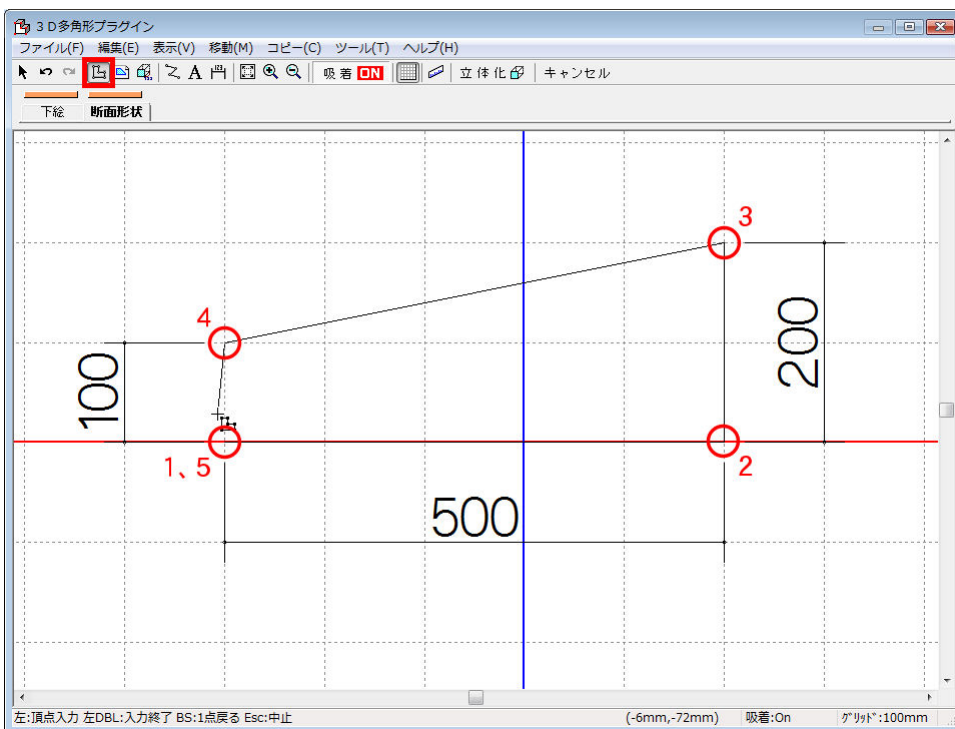


操作3 腰窓パーツを配置します。

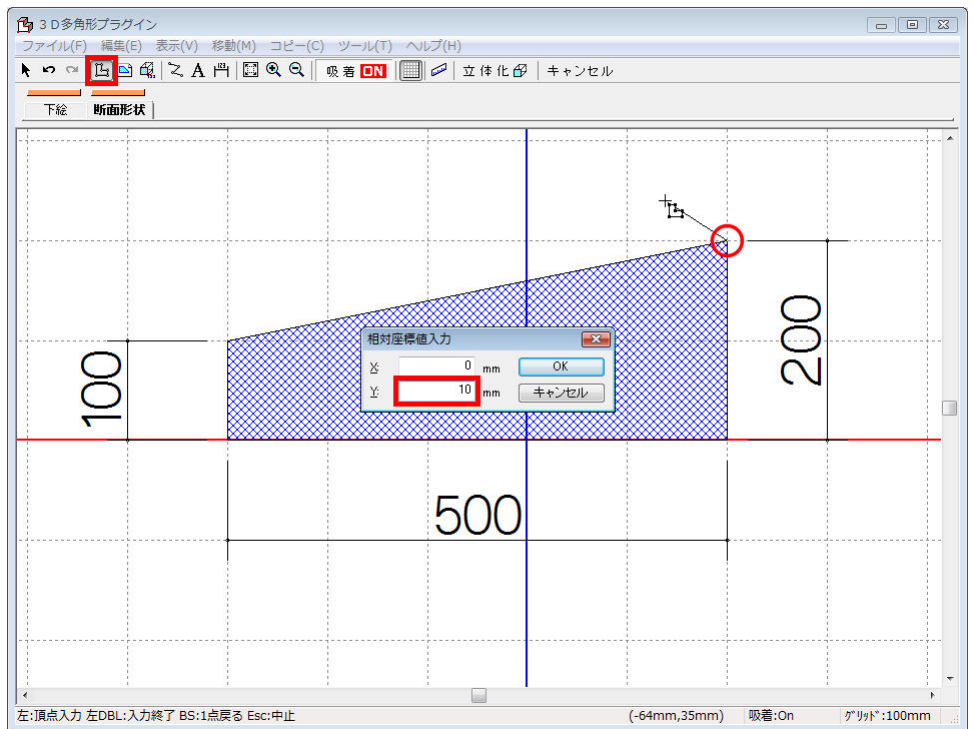
- 1) パーツパレットの[腰窓]タブをクリックし、分類リストから「腰窓2枚」を選択します。
- 2) パレットから腰窓を選択して配置します。
配置後、四面図でドラッグして回転や配置位置を調整します。

**操作4** 庇(ひさし)を作成します。

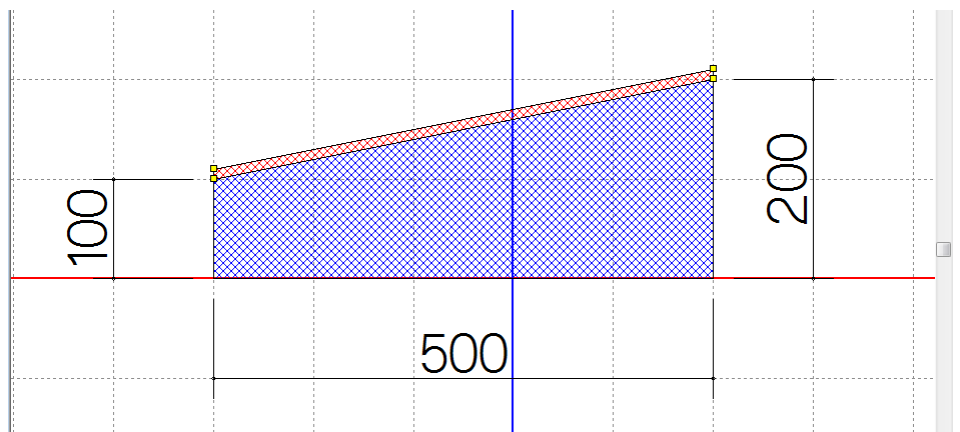
- 1) 形状作成パレットから[3D多角形]ボタンをクリックします。
[3D多角形プラグイン]が表示されます。
- 2) [ツール]メニューの[グリッド設定]を選択し、グリッド幅を「100mm」に設定します。
- 3) 庇の断面図を作成します。
ツールバーの[多角形入力]ボタンをクリックし、始点をクリックします。
- 4) 設計図のように、幅:500mm、外壁側の高さ200mm、軒側の高さ100mmの位置を順にクリックし、最後に始点に戻ってクリックします。



- 5) 続けて屋根面の断面図を作成します。
ツールバーの[多角形入力]ボタンをクリックし、作成した底の右上の頂点を始点としてクリックします。
- 6) 始点クリック後、キーボードの[+]キーを押します。
[相対座標値入力]が表示されます。
- 7) [相対座標値入力]で、X:0mm、Y:10mm と入力して[OK]をクリックします。
2点目が入力されます。

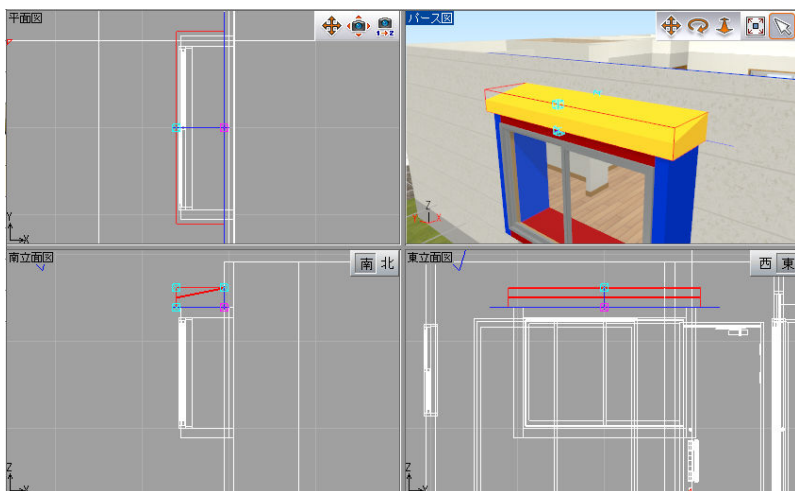


- 8) 続けてキーボードの[+]キーを押します。
3点目は左斜め下への頂点となるので、X:-500mm、Y:-100mm と入力して[OK]をクリックします。
3点目が入力されます。
4点目は底の左上の頂点をクリックして入力し、最後に始点に戻ってクリックします。



- 9) 断面図が作成できたら、ツールバーの[厚み設定]ボタンをクリックし、設計図のように底の幅である2000mm と入力して[OK]をクリックします。

- 10) ツールバーの[立体化]ボタンをクリックします。作成した断面図が設定した厚みで立体化されます。四面図で立体化された形状をドラッグして回転や配置位置を調整します。



操作5 室内側の化粧板を作成して仕上げます。

- 1) 形状作成パレットから[床・天井] ボタンをクリックし、平面図上をドラッグして形状を作成します。
- 2) 作成した形状をダブルクリックし、「幅」「奥行」「高さ」を入力します。ここでは、設計図のように奥行:1710mm、高さ:30mm、と設定しています。壁面から少しでるように幅:460mmとしています。
※作成方向によっては「奥行」と「幅」が逆転します。ここでは縦方向に形状を作成しているので、「奥行」=実際の幅、「幅」=実際の奥行になっています。
- 3) すべての部材が配置できたら、再度、配置位置などを確認し、テクスチャパレットや色パレットに切り替えて、外壁材や壁紙などを貼り付けて仕上げます。

